



平成から

天皇陛下御即位に伴う祝意奉表のため
国民こそぞってお祝いしましょう



5月以降の元号の
表記について

5月1日以降に、元号を用いる文書などは、「令和」を使用しますが、すでに印刷が完了しているものなど、やむを得ず「平成」を表記している場合は「令和」と読み替えていただきますようお願いいたします。

☎(62) 8510
■総務課

改元に伴う被保険者
証等の取り扱い

現在お持ちの国民健康保険被保険者証等及び後期高齢者医療被保険者証等の有効期限は、平成の表記となっておりますが、元号が変わった後も、新元号に読み替えてそのままお使いいただけます。改元に伴う被保険者証等の回収、更新は行いません。

☎(72) 2503
■健康福祉課

令和へ



植樹を終え、記念撮影に臨む不動寺みどりの少年団員と関係者

4月

20日、天皇陛下御在位三十年記念植樹式が行われました。不動寺農村公園に不動寺みどりの少年団と町関係者、協力企業など約50人が参列し、高さ2層のタブノキを植えました。開式にあたり持木町長が「このタブノキが地域と子供たちを守り、町の未来を元気にしてくれることを願います」とあいさつしました。

新谷信之不動寺公民館長は「平和に過ごすことのできた平成の時代を思い、令和の時代も平和に過ごし、地域のシンボルツリーとなるよう努力します」と述べました。

不動寺みどりの少年団

しょうき
団長 藪下晶基さん
(松波小6年)

きょう植樹したタブノキを大切に、これからも自然を守る気持ちを忘れずに行動しようと思います。



(4月20日：天皇陛下御在位三十年記念植樹式・不動寺農村公園)

田や海で酒樽を奪い合う 酒樽がえし

酒



大将の号令にあわせ、前日の雪が残る田んぼに向けて矢を放つ氏子ら



境内で的を狙う大将役の高尾精一さん



今年は見事五本の矢が命中

小雪が舞う中、十郎原の日桂神社で4月3日、「弓引き祭り」が行われました。甲冑姿の氏子らが拝殿で神事に臨んだあと、神社近くの「ばんば」と呼ばれる御旅所みたびしょで大将の号令に合わせ一斉に矢が放たれ、豊作を祈りました。

その後、境内に戻った氏子と神職らにより弓引き神事が行われました。7尺ほど先にある直径約30センチの的に当たった矢の本数で、その年の稲の作柄を占うもので、的に当たった矢が多いほど良いとされ、氏子らは真剣な面持ちで狙いを定め次々と弓を引きました。

的に矢が当たると、見守っていた氏子や見物客から拍手や歓声がわいていました。

今年は全部で5本の矢が命中し、地区の人からは「豊作間違いなし」といった声があがっていました。

樽を担いで神社を駆け下り、田んぼへ



一斗樽に勢いよく注ぐ

藤波の神目神社かみのみの春祭り「酒樽がえし」が4月2日に行われました。下帯姿の男衆が大漁と豊作を願い、一斗樽いっとうぼを激しく奪い合いました。

神目神社でお祓いを受けた12人の男衆は、寒風吹く中、一斗樽いっとうぼに注ぎ満たされた酒樽を担ぎ、神社の石段を駆け下り、近くの田んぼを目指して「わっしょい、わっしょい」とはやしながら駆け出しました。田んぼに入ると全身泥まみれになりながら激しく樽を奪い合いました。樽が投げられるたびに、泥水が大きく飛び

散りました。

田を後にした男衆は、時折足を止め、樽の酒を飲みながら海へ向かいます。辺田の浜の浜辺に到着すると腰や肩まで海に入り、水しぶきを上げ海中の酒樽を追いかけてました。

寒さをものともしない勇壮な姿を撮影しようと、多くのカメラマンが訪れていました。



豊作を祈り酒樽を奪い合う男衆



弓

豊作を祈り矢を射る 弓引き祭り